

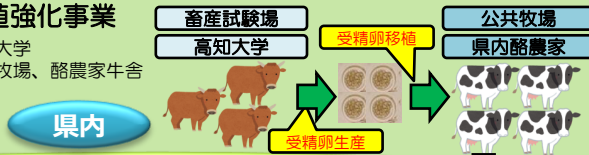
土佐あかうし増頭対策の加速化

子牛を増やす

1. 受精卵移植による子牛生産体制の構築

土佐あかうし受精卵移植強化事業

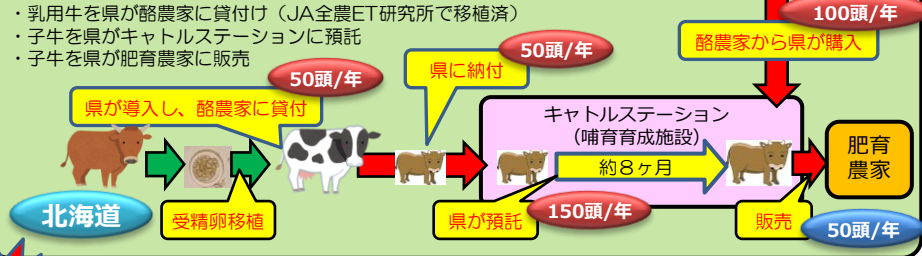
- ・受精卵生産：畜産試験場、高知大学
- ・乳用牛へ受精卵移植：県内公共牧場、酪農家牛舎



2. 受精卵移植用乳用牛の確保

土佐あかうし受精卵移植用乳用牛貸付事業

- ・乳用牛を県が酪農家に貸付け（JA全農ET研究所で移植済）
- ・子牛を県がキャトルステーションに預託
- ・子牛を県が肥育農家に販売



3. 受精卵移植体制の強化

★JA全農ET研究所と連携した県内での一斉移植（調整中）

- 全国トップクラスの技術を持つJA全農ET研究所職員が移植
- 受精卵の増産と受胎率の向上
- 県職員の技術向上につながる



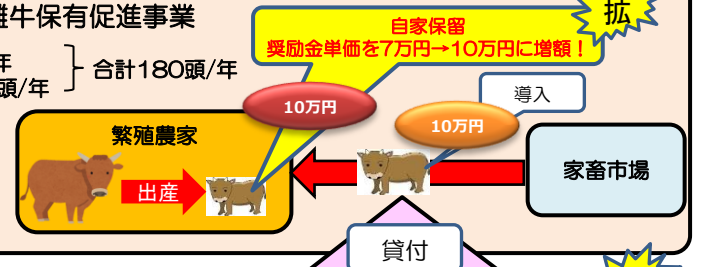
拡

母牛を増やす

1. 土佐あかうしから生まれた雌子牛の繁殖仕向け強化

(1) 土佐和牛繁殖用雌牛保有促進事業

- ・繁殖雌牛の導入：60頭/年
 - ・雌子牛の自家保留：120頭/年
- 合計180頭/年



(2) 肉用牛導入資金供給事業

- ・市町村が基金を造成し、繁殖雌牛を導入。農家に貸し付け

- H29 基金造成
 - 安田町 20頭
 - 室戸市 15頭
- H30 基金造成
 - 室戸市 15頭
- H29~30 合計50頭 → 合計216頭 (H31~36) の子牛を産む!

新

2. 受精卵移植で生まれた雌子牛を新たに繁殖仕向け

★東部地域における繁殖雌牛の生産拡大

- ・県が受精卵移植で生まれた雌子牛を購入。新規就農者等に貸し付け
- 専用キャトルステーションを新たに整備（田野町 一貫農家）
- 新規就農者は子牛を同キャトルステーションに預託



拡

将来の担い手を増やす

★土佐和牛担い手確保対策事業

- ・土佐和牛農家における新規就農希望者（県外一般人）の就農体験（インターンシップ）を民間企業に委託
- ・空き牛舎や廃業予定農家のリストアップ＝新規就農者とのマッチング
- ・「産地提案型」による各産地、地域からの新規就農者募集
- 農業人フェア等の県外でのイベントに参加し、募集

牛舎と牛を継承

【新規就農者】

